

あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会

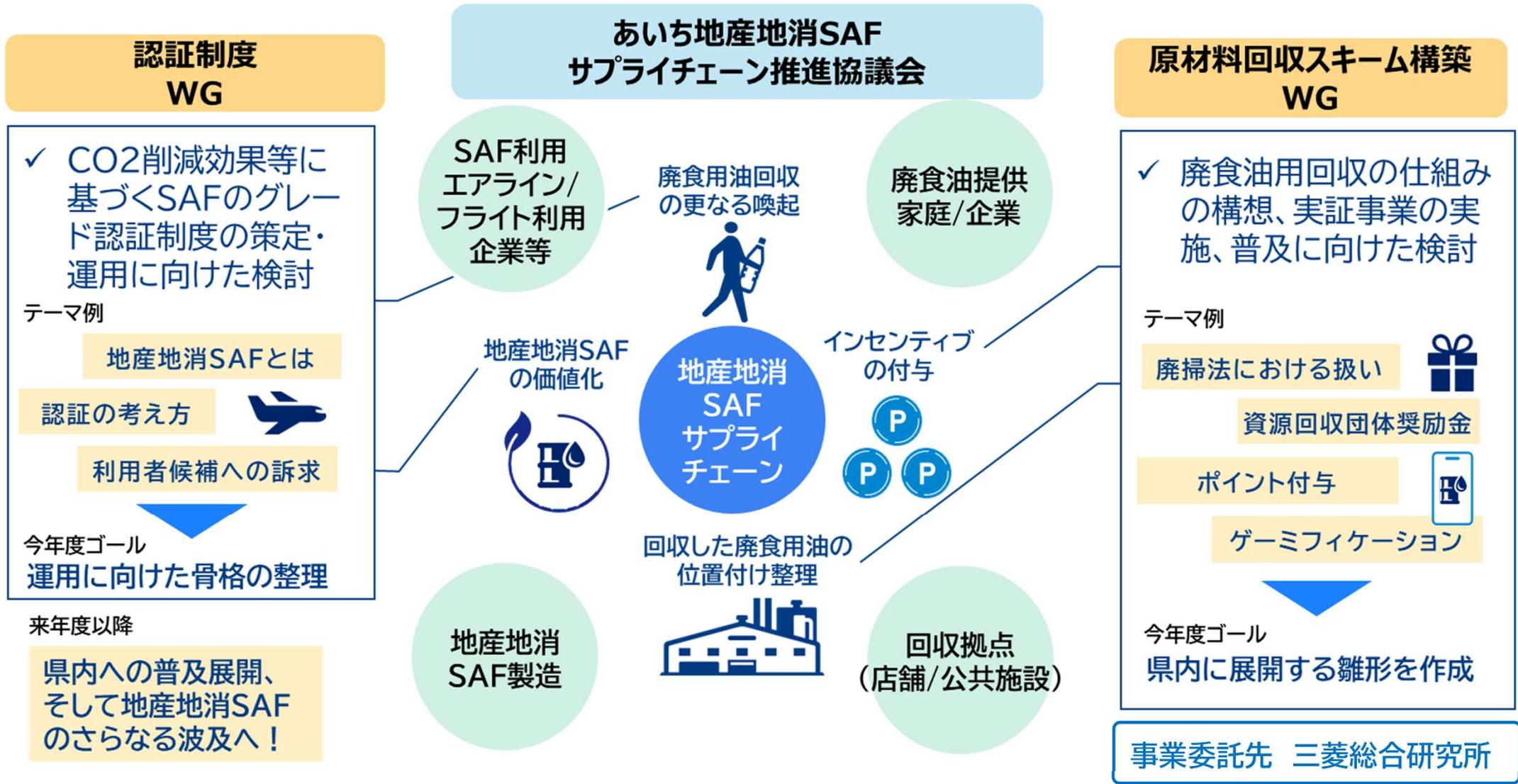
2025年度 活動報告

2026年2月17日（火）

愛知県経済産業局次世代モビリティ産業課

2025年度の活動

- ✓ 「**あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会**」の設立
- ✓ 原料となる**廃食用油の回収スキーム構築**に向けた検討
- ✓ 地産地消SAFの価値の見える化=**グレード認証制度の策定・運用**に向けた検討



あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会

※2026.2.3現在

会長 知事

プロジェクト
提案企業

株式会社レポインターナショナル
株式会社NTTデータ

会員
42企業・団体
(ただし、非公
表企業・団体含
む)

【廃食用油を有効活用したい企業】
(株)アオキスーパー、(株)壱番屋、
イフスコダイニング(株)、(株)甲羅、
(株)ジェイグループホールディングス、
藤一番、ホンダ開発(株)、
(株)焼肉坂井ホールディングス

【廃食用油を有効活用したい自治体】
豊橋市、岡崎市、一宮市、半田市、春日井市、
豊田市、安城市、常滑市、小牧市、東海市、
大府市、知多市、岩倉市、豊明市、田原市、
愛西市、あま市、東郷町、豊山町、大治町、
蟹江町、阿久比町、東浦町、美浜町

【空港】中部国際空港、県営名古屋空港

【航空機関連メーカー】 三菱重工航空エンジン(株)

【エアライン】日本航空(株)

【運行会社】本田航空(株)

【金融機関】三菱UFJ銀行、みずほ銀行

【その他】(株)豊田自動織機、(株)本田技術研究所

他1企業・団体

※企業は五十音順、自治体は建制順

アドバイザー

愛知大学 地域政策学部
戸田敏行教授

オブザーバー

経済産業省中部経済産業局
環境省中部地方環境事務所
愛知県地球温暖化対策課、愛知県航空空港課
BOEING JAPAN

ワーキンググループ <原材料回収スキーム構築>

廃食用油回収の仕組み等について検討し、モデル事業実施につなげる

ワーキンググループ <認証制度>

CO2 削減効果等に基づくSAF のグレード認証制度を策定・運用するための制度設計

推進協議会の設立

プロジェクトの事業化支援を始め、この地域でのSAFサプライチェーンを構築するため、**県知事を会長とし、40の企業や市町村等からなる「あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会」を2025年8月8日に設立し、第1回会議を開催。**

※第2回会議：2026年2月17日開催予定



- **目的**
本県の航空分野におけるCO2排出量削減を図るため、企業や市町村等が連携し、「**地産地消SAFサプライチェーン構築プロジェクト**」の推進をはじめ、この地域でのSAFサプライチェーンの構築を目指す。
- **事業**
目的を達成するために必要な事項の協議、検討、事業の実施
 - ・ 廃食用油回収スキーム、トレーサビリティ構築等にかかる課題検討
 - ・ プロジェクト推進に係る気運醸成
- **構成メンバー**
会長 知事
会員 企業・団体（市町村、一部事務組合を含む。）
アドバイザー 有識者（大学教授等）
オブザーバー 国・県・航空関連企業等
事務局 県次世代モビリティ産業課
※ワーキンググループを設置（各種協議・検討）
- **会員の募集**
随時
規約 別紙1 入会申込書を事務局へ提出

会員 プロジェクトに関心があり、協議会への参画を希望するとともに、以下の要件に該当する企業・団体（市町村、一部事務組合を含む。）」

- ア 廃食用油等をSAFの原料として本地域のカーボンニュートラルに資する形で有効活用したい企業・団体
- イ この地域の地産地消SAFを航空機に給油するために協力していただける企業・団体（給油事業者）
- ウ この地域の地産地消SAFを利用したい企業・団体（エアライン等）
- エ その他、この地域のSAFサプライチェーン構築に関心のある企業・団体

第1回会議（2025年8月8日（金）午後3時30分～午後5時）

開催方法・会場 対面とオンライン（Teams）のハイブリッド形式
（会場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち））

参加者 大村愛知県知事、提案企業等構成メンバーのほか、本協議会に関心を寄せる企業・団体が参加
（会場参加：28企業・団体、オンライン参加：27企業・団体）

内容

開会挨拶（会長：知事）、記念撮影
協議会設立及びプロジェクトの紹介
国内SAFサプライチェーン取組事例紹介
日本航空株式会社/中部国際空港株式会社及び合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY
交流会（名刺交換）

ワーキンググループ活動

原材料回収スキーム構築 ワーキンググループ

廃食用油回収の仕組み等について検討し、モデル事業実施につなげる

2025年度：家庭系廃食用油の回収について課題を整理

メンバー

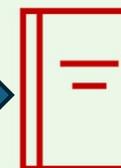
レボインターナショナル
NTTデータ
アオキスーパー
春日井市
小牧市
豊明市

回収方法・廃掃法関係

- ・ 県内市町村解釈の整理
(アンケート調査・ヒアリング)
- ・ 県環境局や環境省本省へのヒアリングの実施
- ・ 民間取組事例の調査

普及啓発・インセンティブ

- ・ インセンティブ付与(民間、自治体)事例の調査
- ・ 普及啓発事業事例の調査
- ・ 県民意識調査の実施



廃食用油回収
推進のための
ガイドブック
を作成

認証制度 ワーキンググループ

CO2 削減効果等に基づくSAF のグレード認証制度を策定・運用するための制度設計

2025年度：「地産地消SAFの価値の見える化」を目指し課題を整理

メンバー

レボインターナショナル
NTTデータ
みずほ銀行

① 地産地消SAFのコンセプト
地産地消SAFとは何か、どのよう
に価値化できるか

② トレーサビリティシステムのコンセプト
地産地消SAFを証明をするために何をどのよう
にトレースするか



トレーサビリティシステム実証運用へ

PRイベントへの協力

アオキスーパー全店舗 廃食用油店舗回収開始記念イベント
 (すてる油で空を飛ばうプロジェクト アオキスーパー・日本航空)

アオキスーパーアズパーク店に
モリゾーとキッコロ
 & **らこぼん**が
 あそびにくるよ!

アオキスーパー
公式キャラクター
らこぼん

愛知県 大村知事
 ステージングセレモニー
にご出席!

※公開の都合によって変更になる場合があります。

あいちSDGs
アンバサダー
モリゾーとキッコロ

12/7 @ 14:30~
 すてる油で空を飛ばう®プロジェクト
 スタートアップイベントに登場!

- ✓ 協議会会員である株式会社アオキスーパー及び日本航空株式会社は、2025年8月からアオキスーパー店頭での廃食用油回収を行う「すてる油で空を飛ばう」プロジェクトを実施。
- ✓ 2025年12月7日には、アオキスーパー全店舗（県内23市町村 50店舗）での回収がスタートし、それを記念するイベントに協議会会長である大村知事が出席。



JAPAN AIRLINES すてる油で空を飛ばう®
 プロジェクトとは?

ご家庭で使用済みの食用油を飛行機の燃料に変えることでCO₂削減に大きく貢献します。

先着
100名
まで先着プレゼント!

家庭系廃食用油の
回収をはじめます
**JALオリジナル
UCOボトル
プレゼント**

JALオリジナルステッカー入り
※ステッカーは、UCOボトルの中に入っています。

※UCO Uses Cooking Oil (株式会社)
 ※プレゼント終了後は1本200円(送料別)で販売します。

リサイクルBOXへの回収イメージ

UCOボトルプレゼント時のご購入時にもれなく/
オリジナルステッカープレゼント!
 ※ハピタベカチャが回収されます!

※詳しくは店内ポスターをご覧ください。 オリジナルステッカー▶

JAL KID'S STUDIO

パイロットや客室乗務員の制服を着て
 写真を撮ろう!

12:30~14:00

**イベント広場に
 集まれ!!**

※写真はイメージです。

Heart to SAF
 Heart to あいち
 Heart to FUTURE

あいち地産地消 SAF サプライチェーン推進協議会とは

2019年のカーボンニュートラル宣言を契機に、気候変動対策の推進、
 地産地消での食料供給の確保からその推進を促す、SAFの普及、利用促進を
 目的として、地産地消の推進に資する役割を担うこととなります。

SAF Sustainable Aviation Fuel 原料、供給の取組状況

協議会が推進する事業
 協賛企業

協賛企業
 SAF原料 供給 企業

協賛企業
 SAF原料 供給 企業

あいち地産地消 SAF サプライチェーンのイメージ

協賛企業
 SAF原料 供給 企業

あいち地産地消 SAF サプライチェーンのイメージ

協賛企業
 SAF原料 供給 企業

あいち地産地消 SAF サプライチェーンのイメージ

協賛企業
 SAF原料 供給 企業

2026.2.15 (IGアリーナ)
TGC in AICHI・NAGOYA2026

アオキスーパーがイベントパートナーとしてブースやステージにて廃食用油回収をPR

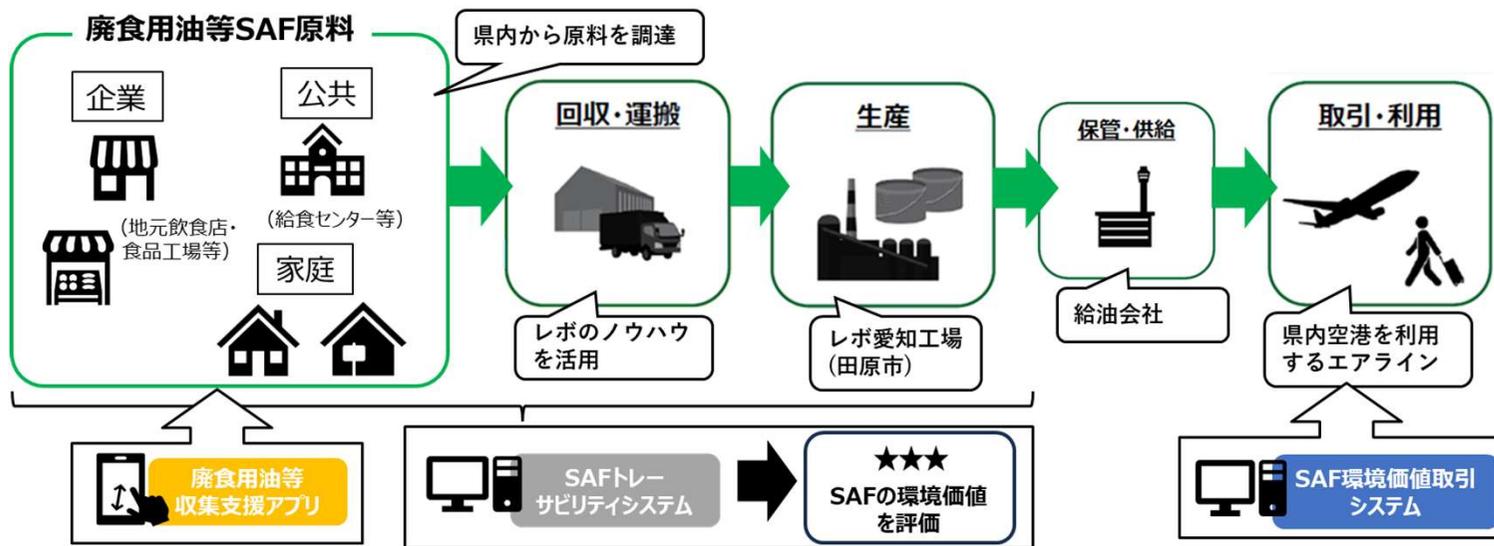
パネル展示等、
 廃食用油回収や
 SAF活用をPR

(参考) 地産地消SAFサプライチェーン構築プロジェクトの概要

1. 内容

- 本地域の飲食チェーン店や家庭等から回収した廃食用油等を原料に、株式会社レボインターナショナルが田原市に設置するSAF製造プラントにおいて、同社の特許技術であるCO2排出量の少ない方法でSAFを製造し、県内の空港を利用するエアラインへの供給を目指す
- 株式会社NTTデータが開発するトレーサビリティシステムを活用し、廃食用油等の原料の回収・SAF製造・輸送等に伴うCO2排出量を正確に把握。同システムを活用してSAFの製造工程を含めたCO2削減効果を評価する認証制度の創設等を検討し、環境負荷の低いSAFの利用促進やSAF製造業者等の本地域への新規参入等を促す
- これらの取組を通じ、原料となる廃食用油等の回収からSAFの製造、供給、利用まで含めた地産地消サプライチェーンの構築を目指す

2. イメージ



【期待される効果】

廃食用油からSAFを製造した場合
CO2削減量：約3万t/年
 ※SAFと同時に生成される連産品によるCO2削減効果も含む

廃食用油以外の原料（森林資源等）からもSAFを製造した場合
CO2削減量：約42万t/年

(株)レボインターナショナル愛知工場

- ◆ 竣工：2025年2月
- ◆ 敷地面積：9,768m²
- ◆ バイオディーゼル生産：3万ℓ/日
SAF生産：600ℓ/日



3. 提案企業の主な役割

役割	会社名
原料の廃食用油の回収、SAF製造 等	レボインターナショナル
CO2排出量トレーサビリティシステム等の各種システム開発	NTTデータ